

屈せずに 生きた 浪江虔



—民主主義の礎としての私立南多摩農村図書館—

小さな市民活動資料の資料館「市民アーカイブ多摩」を立川市内の玉川上水駅近くに開館してから、2年が経過します。開館日ごとに、市民活動、市民運動の資料群の確認や整理に追われながら、私たちの資料館の存在意義や、日々手がける作業の意味について思考を巡らせています。

さかのぼること76年、同じ多摩の地で小さな図書館を自力で開館した人物がいました。昭和恐慌の時代に、地主に抵抗する小作農民を支援しようと、南多摩郡鶴川村（現町田市）にやってきた浪江虔です。支援活動は、治安維持法により挫折を余儀なくされますが、浪江は、やがて鶴川村に居をかまえ、「私立南多摩農村図書館」を開設します。平和の礎を村から築こうというのです。

孤立無援のなかで、浪江がいくつもの試練を乗り越え、村の図書館を戦後民主化の拠点としていった軌跡を、あらためてたどります。戦時下、屈することなく生きた浪江虔から、今この時代を生きる私たちへの示唆が見つかるはずです。

皆様のご参加、お待ちしております。

5月29日（日）

午後2時30分～4時30分（開室2：15）

講師：田中伸尚さん

（ノンフィクション作家）

会場：たましんりスルホール

（立川市市民会館）

5階第1会議室

（立川駅南口歩12分・西国立駅歩8分）

申込み不要。
当日会場へ
お越しください
資料代
500円

主催・問合せ先： ネットワーク・市民アーカイブ

tel/fax: 042-540-1663

E-mail: simin-siryo@nifty.com <http://www.c-archive.jp/>

のぶまさ
田中伸尚さん (ノンフィクション作家)



1941年東京生まれ。朝日新聞記者を経て、フリーライターへ。2002年『憲法を獲得する人びと』で平和・協同ジャーナリスト基金賞。2011年『大逆事件—死と生の群像』で日本エッセイスト・クラブ賞受賞

著書に『抵抗のモダンガール作曲家・吉田隆子』『未完の戦時下抵抗』『行動する預言者 崔昌華 ある在日韓国人牧師の生涯』『未完の戦時下抵抗』『ドキュメント 憲法を獲得する人びと』『自衛隊よ、夫を返せ!—合祀拒否訴訟』『日の丸・君が代の戦後史』など多数。

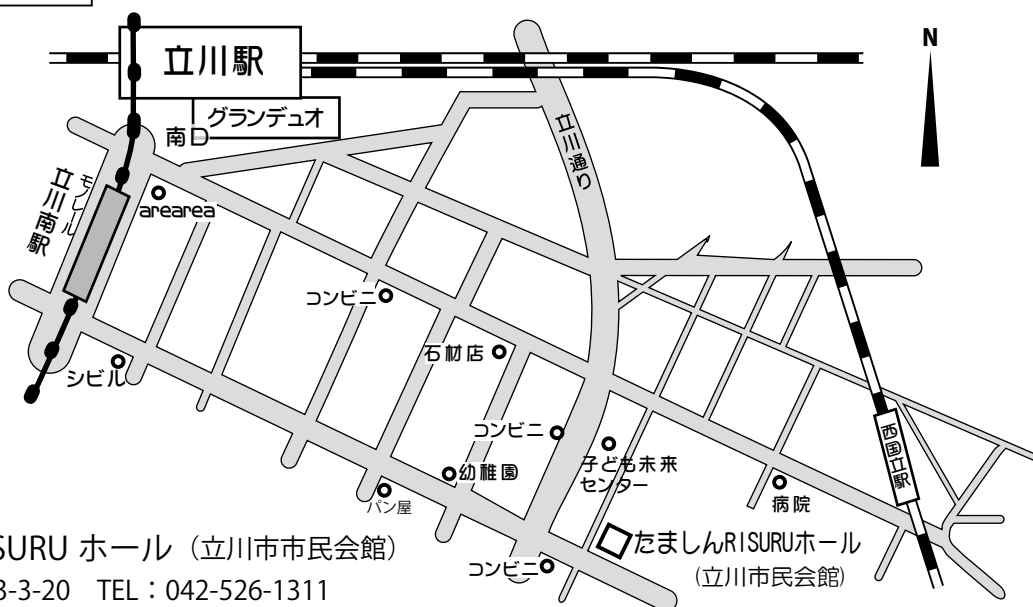
浪江虔と農村図書館



1910-1999年。札幌市生まれ。1930年東大文学部美学科に入学するが、農民運動に参加し31年退学。33年検挙され35年出獄。農村定住と農民運動のやり直しを決意し、農村図書館開設の計画で本集めを始め、東京府立園芸学校に通学。39年鶴川村(町田市)に定住し私立南多摩農村図書館を仮開設したが、兄板谷敬のまきぞえで検挙されて入獄、44年出獄、農村図書館を再開。45年は年間1万冊をかしたすほどの盛況だった。部落文庫育成につとめ、農民組合の強化に努力。農地改革完遂のための農民運動と、農村図書館運動に傾倒。農民向きに本が書かれていないことに気づき、本づくりにも力を注いだ。68年には「私立鶴川図書館」と改称、89年閉館。

(表の農村図書館と浪江の写真は野沢陽子氏蔵)

会場案内図



たましん RISURU ホール (立川市市民会館)

立川市錦町 3-3-20 TEL : 042-526-1311

アクセス : JR 中央線立川駅南口より、徒歩 13 分

JR 南武線西国立駅より、徒歩 8 分。

多摩モノレール立川南駅より、徒歩 12 分。